

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 幸

作成日: 平成 31 年 3 月 6 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	外部評価調査で行った家族アンケートの提出数も増え、家族とホームの関係が良い状況であることを受け、家族と今以上の信頼関係を築き、共に、利用者を支える関係作りに取り組んでいく。	ホームと家族、家族同士の親睦を図るため、家族交流会を開催し、コミュニケーションを取る中で、協力関係を築き、家族の意見、要望を聴き出し、それを共に実現していく体制作りを目指していく。	12ヶ月
2	3	事業所の力を活かした地域貢献	現在行っている、小・中学校との交流を活かした認知症、グループホームの啓発や若手男性職員が多い事から、地域の行事や活動に積極的に関わる等、ホームができる地域貢献に取り組んでいく。	小・中学生向けの認知症サポーター養成講座の実施や、町内会と連携して認知症カフェや高齢者サロンの開催等、グループホームの持つ知識や経験を、地域の子供達や地域住民へ伝え、子どもから高齢者まで、住み良い地域作りに協力しながら取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。